

きなくなってしまうです。

そこで、スクールサポーターや警察署の方の巡回も行われていますが、事件の予防とその道を利用する人や私たちの安全のために、市の防犯対策についての考えを聞かせてください。

【答弁】市では防犯対策の一つとして、防犯灯の整備を行っています。防犯灯の設置基準での設置場所は、国道および県道、地域住民が生活道路として利用する主要な役割を果たしている市道、そして、児童・生徒が通学に利用する指定通学路と定めています。

また、防犯灯はおおむね60mに1基、つまり電柱1本おきに1基設置しており、市内には約3700基があります。防犯灯は、夜間の犯罪の未然防止と、通行の安全確保の一つとして役立っており、今後とも、危険度等を考えて整備を進めていきます。

防犯灯整備以外の防犯対策として、警察署や市防犯協会等により、青色防犯パトロールを実施しています。また、「防犯散歩ボランティア」として地域の方々にその地域を見守っていたいたり、車に「防犯パトロール実施中」のステッカーをはった地域防犯活動を行っていたಿದೆます。

このような防犯対策に併せて、さらに犯罪等を未然に防ぐには、例えば、「一人ではなく集団下校に心がける」「人気のない所には近づかない」など、「自分たちのまちは自分たちで守る」という防犯意識の向上を図ることも大切です。

さて、東地区にお住まいの伊奈東中学生の通学路は、ご指摘の田んぼの真ん中を通る道路より若干遠回りになりますが、台

みらい平駅周辺へ大型文化施設の建設について



きさ 沙季 議員
いし しま 石島 議員

通用水に沿った市道も指定されています。田んぼ道は、電柱もなく防犯灯を整備するのはなかなか厳しい状況です。一方、台通用水沿いの道は、自動車の往来があるものの、防犯灯が整備され不審者などが出没しにくい状況となっています。

市では、さらに調査を進め、関係機関とも調整しながら、田んぼ道の防犯灯設置の是非について判断をしてまいります。

【質問】つくばみらい市も合併に伴い、つくばエクスプレスのみらい平駅ができ、大手スパーが進出してきたりと、活気ある市になってきました。つくばみらい市も都市化がなされているのだと思います。

市に大型文化施設があれば、有名アーティストを呼んでさまざまな音楽や芸能に触れることができます。

また、趣味が生かせる芸術や習い事を紹介・体験できるホールがあれば、市民の文化水準を

議事日程がすべて終了するにあたり、飯島市長からあいさつがありました。

当市では、次代を担う中学生の皆さんに模擬議会の体験を通じ、市政や市議会への関心を深め、まちづくりへの参加意欲を高めていただこうと、初めてこの中学生議会を開催いたしました。



中学生議員からいただいた質問は、いずれも市が抱えている諸問題であり、非常にすばらしい質問であったと感銘を受けるとともに、中学生が日ごろよりつくばみらい市のことを真剣に考えることがよく分かり、市政を預かるものとして、非常に心強く、そして誇らしく思っています。

市では、本日の意見を真摯に受け止め、「活力にみちたうるおいとやすらぎのまち」を目指し、今後のまちづくりに活かしていきたいと考えています。

※今回は議事の概要をお知らせしました。
当日の議事録は今後、市のホームページに掲載予定です。

に人口が増加し、今後は「みらい平」周辺地区が新たな拠点として、市の中心になるものと期待されています。

この新駅周辺に大型文化施設を建設することが、市の活性化に多方面で大いに役立つのではないかとのご提案ですが、大型文化施設建設による効果はかなり期待できるものがあると思いますが、施設建設には克服しなければならぬ、いくつかの課題があります。

まず一つは、建設用地の問題です。どこに、どのくらいの面積が必要か、現在の区画整理事業計画の中で用地の配分は可能かなどの検討が必要です。

以上のように、現在の人口規模で、大型の文化施設を建設し、運営することについては、困難性があると思われます。

二つ目は、文化施設の規模や用途はどのようなものにするかです。市内の文化的な施設として

では、「きらくやまふれあいの丘」に「世代ふれあいの館」があります。また、公民館やコミュニティセンターもあり、市民の趣味や各種サークル活動の場として有効に利用されています。近隣では、つくば市の「ノバホール」、坂東市の「ベルフォーレ」など、本格的なコンサートホールがあり、競合するのではないかと懸念されることです。